

変動型最低制限価格の算出例・計算方法

1 算出対象の入札の数が3以上の場合

(1) 上位入札平均額に0.9を乗じて得た額が最低制限価格となる場合

予定価格25,000,000円

入札結果

入札者	入札金額(円)	順位
A社	16,000,000	1位
B社	21,000,000	2位
C社	23,200,000	3位
D社	23,800,000	4位
E社	23,800,000	4位
F社	24,800,000	6位
G社	26,000,000	7位

ア 初めに、計算の対象となる入札を特定します。

上記の入札結果では、7位(G社)の入札金額は予定価格を超えているため、G社を除く6者の入札が計算の対象です。

イ 次に、上位60%の順位までの入札金額の平均を求めます。

6社のうち上位60%にあたるのは、 $6 \times 0.6 = 3.6 \rightarrow 4$ 位(端数切り上げ)ですので、1位(A社)から4位(D社・E社)までの入札金額の平均を求めます。

入札結果から、A社からE社まで5者の平均入札金額は、21,560,000円です。

ウ 最後に、イで求めた平均額に0.9を乗じて得た額(1万円未満切捨て)と予定価格に0.7を乗じて得た額(1万円未満切捨て)とを比較し、大きい額を最低制限価格とします。

① 平均額 $\times 0.9$ $21,560,000 \times 0.9 = 19,404,000 \rightarrow 19,400,000$ (円)

② 予定価格 $\times 0.7$ $25,000,000 \times 0.7 = 17,500,000$ (円)

アからウまでの計算の結果、最低制限価格は、19,400,000円です。

A社の入札金額は最低制限価格未満のため無効となり、B社が落札者です。

(2) 予定価格に0.7を乗じて得た額が最低制限価格となる場合

予定価格25,000,000円

入札結果

入札者	入札金額(円)	順位
A社	16,000,000	1位
B社	17,000,000	2位
C社	18,500,000	3位
D社	19,000,000	4位
E社	21,000,000	5位
F社	24,000,000	6位
G社	25,000,000	7位

ア 初めに、計算の対象となる入札を特定します。

上記結果では、全者の入札金額が予定価格以内のため、7者の入札が計算対象です。

イ 次に、上位60%の順位までの入札金額の平均を求めます。

7者のうち上位60%にあたるのは、 $7 \times 0.6 = 4.2 \rightarrow 5$ 位(端数切り上げ)ですので、1位(A社)から5位(E社)までの入札金額の平均を求めます。

入札結果から、A社からE社まで5者の平均入札金額は、18,300,000円です。

ウ 最後に、イで求めた平均額に0.9を乗じて得た額(1万円未満切捨て)と予定価格に0.7を乗じて得た額(1万円未満切捨て)とを比較し、大きい額を最低制限価格とします。

① 平均額 $\times 0.9$ $18,300,000 \times 0.9 = 16,470,000$ (円)

② 予定価格 $\times 0.7$ $25,000,000 \times 0.7 = 17,500,000$ (円)

アからウまでの計算の結果、最低制限価格は、17,500,000円です。

A社及びB社の入札金額は最低制限価格未満のため無効となり、C社が落札者です。

2 算出対象の入札の数が3未満の場合

予定価格 25,000,000円

入札結果

入札者	入札金額 (円)	順位
A社	23,000,000	1位
B社	24,500,000	2位
C社	25,100,000	3位
D社	26,000,000	4位
E社	26,200,000	5位
F社	27,000,000	6位
G社	27,100,000	7位

計算の対象となる入札を特定しますが、上記結果では、予定価格以内の入札金額は1位（A社）及び2位（B社）の2者しかありません。従って、有効な入札が3に満たないため、予定価格に0.7を乗じて得た額（1万円未満切捨て）を最低制限価格とします。

予定価格 × 0.7 25,000,000 × 0.7 = 17,500,000 (円)

計算の結果、最低制限価格は、17,500,000円となり、A社が落札者です。